



論座 > 文化・エンタメ > 記事一覧 > 記事

文化・エンタメ

大坂なおみのCMとホワイトウォッシュの底深い闇

赤尾千波 富山大学人文学部人文学科教授(アメリカ文学・文化専攻)

ホワイトウォッシュ | 大坂なおみ | 黒人差別

2019年02月13日



イタチごっこが終わらないのはなぜか

ホワイトウォッシュの行為は今日も続いており、欧米での抗議と弁明の繰り返しは、一見すると空しいイタチごっこである。

では、「抗議を止めない」のは、なぜだろうか。それは、来る日も来る日も白人優位の暗示を受け続ける欧米の非白人は、それがいつの間にか当たり前となる危険性を熟知しているからである。このような偏見に囲まれていて良いことは一つもないし、抗議しない限りあくなき増殖を続けていくのは明らかである。だからこそ、あきらめて屈するわけにはいかないのだ。日本人は、このような「悪意に根ざすホワイトウォッシュ」の因縁の歴史を知らない。だからこそ「白い」大坂を描いてしまったのだろう。だが、それはあまりに幼稚な行為であったと言わざるを得ない。

ホワイトウォッシュは他人事ではない

今回のてん末を振り返ると、2017年の『ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!』の年末番組『絶対に笑ってはいけないアメリカンポリス24時!』(日本テレビ系)で、浜田雅功がブラックフェイスで登場したときから、何ら進歩がなかったことが痛感される。

[浜田雅功「黒塗りメイク」論争を再考する——「ブラックフェイス」は、“忌まわしき過去の象徴”](#)

「日本人がやっていることで、アメリカの差別の文脈じゃないからいいじゃないか」と言いながら、番組を見たアメリカ人からの批

編集部から

「論座アーカイブ」開設のお知らせ
2023年07月21日

論座の更新を終了いたしました
サイトは7月まで閲覧できます
2023年04月26日

コメント投稿サービス終了のお知らせ
2023年04月21日

最新ランキング 週間ランキング

-  渡辺麻友の電撃引退に納得。彼女は「アイドルのプロ」だけじゃなかった
-  死後の世界をめぐる仏教と人々の“ズレ”～人は死んだらどこへ行くのか？
-  新潟親子遭難死は救えた命かもしれない
-  手記・上高地でクマに襲われた私の経験
-  在NY、新型コロナ感染体験記——「軽症」だったが初めて死を意識した
-  [1] 冷戦下、断絶と疎外の社会に変革を告げた～「サウンド・オブ・サイレンス」
-  事故原発に首相、作業員「怒ってるよ、菅直人、何しに？」
-  ダムに沈んだ村に最後まで住んでいた一

判に対しては一切反論はなされなかった。これもまた、日本人独特の事なかれ主義、と批判されても返す言葉もないだろう。

今回のCMも、日本人の中からというよりアメリカから批判の声が上がり、初めて注目されたという経緯は同じである。どんなささいな偏見にもつねに警戒を怠らない欧米の非白人の意識には、遠く及ばないものがある。

このあたりで（テニスではないが）立ち位置を変えてみてはどうだろうか。大坂という褐色の肌を持つ日本人選手が、いま世界を股にかけて活躍している——人種差別主義者が山ほどいる世界で、ときにホワイトウォッシュされながら——それを応援しようというとき、この問題は他人事ではない。

人種偏見とは何か、ホワイトウォッシュは何が問題なのか——そうした問題を見過ごすことができなくなって初めて、大坂選手とともに世界に並び立ち、彼女を応援することができる——いま、その良いチャンスが到来したのかもしれない。

■参考文献

[John G. Russell, "Replicating the White Self and Other"](#) 

先頭 前へ 1 2 3 4 5 次へ 末尾

次の記事

関連記事



文化・エンタメ **浜田雅功「黒塗りメイク」論争を再考する——「ブラックフェイス」は、“忌まわしき過去の象徴”**

赤尾千波 2018年02月06日



文化・エンタメ **続・浜田雅功「黒塗りメイク」論争を再考する**

赤尾千波 2018年02月07日

筆者



赤尾千波 (あかお・ちなみ) 富山大学人文学部人文学科教授(アメリカ文学・文化専攻)

津田塾大学学芸学部英文学科卒。筑波大学大学院修士課程地域研究研究科、インディアナ大学大学院を経て、筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科途中退学。岐阜大学教育学部助手を経て現職。著書に『アメリカ映画に見る黒人ステレオタイプ——『国民の創生』から『アバター』まで』（富山大学出版会）など。 **研究室HP**、 **アメリカ映画に見る黒人ステレオタイプ** 関連資料

※プロフィールは、論座に執筆した当時のものです



9 **民主党政権が失敗に終わった本当の理由～悪いのは「マニフェスト」ではない**



10 **AIが感情と意識を持つことは可能か**

もっと見る

朝日新聞社から

会社案内
CSR報告書
採用情報
記事や写真利用案内
新聞広告ガイド

デジタル事業から

デジタルサービス一覧
携帯サービス
Astand(コンテンツ販売)
法人向け配信
写真の購入案内
記事データベース案内
朝日ID

グループ企業

朝日新聞出版の本
朝日新聞出版(AERA dot.)
朝日インタラクティブ
朝日学生新聞社

各国語サイト (News in various languages)

The Asahi Shimbun Asia&Japan Watch
(ENGLISH)
Asahi Weekly (ENGLISH/JAPANESE)
ハフポスト日本版 (JAPANESE)
CNN.co.jp (JAPANESE)

[サイトマップ](#) | [サイトポリシー](#) | [利用規約](#) | [特定商取引](#) | [web広告ガイド](#) | [リンク](#) | [個人情報](#) | [著作権](#) | [お問い合わせ](#)

掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.